



1. 東京・銀座の夜空になじむ、深いブルーのライティング
2. テナントの営業中は、店内照明の色味を踏まえたライティングとしている。光のラインや消灯部分をゆっくりと付加することで、さまざまな表情を魅せる



1190個のLED照明の光が反射し増幅するファサードは、プログラミングにより、あえて輝度を抑えつつスローに変化させ、消灯部分も含めた表現がなされている(撮影/Yuriko Takagi)

無限に乱反射する 光の粒子をコントロール

東京・銀座の開口8mの敷地に、商業施設計画の依頼をいただきました。銀座では、建物の高さは工作物を入れて最大66mまでで、床面積を最大限に活用すると、そのたまたままいは塔状比が1.9となります。この特異なプロポーションを持つ建物が、賑やかな銀座の中心にどう在るべきかを考えました。そこで、あえて寡黙であるが故の存在感を目指し、ガラスルーバーで覆われた、水紋のようなファサードとしました。ファサード・ライティングで寡黙を具現化するにあたって、銀座にあふれる直接照明や間接照明、デジタルサイネージとの差別化を試みました。コンセプトは、「光の万華鏡」。中央通り側の前面に避難バルコニーを設け、床面と天井を鏡面仕上げとしました。奥行きのある空間をLEDが無限に乱反射して、光の粒子がガラスルーバーに映り込む構造です。ライティングを手掛けた金田篤士さん(ワークテクト)とは、まず20分の1、10分の1の機型で実験しました。次に、ガラスルーバー4段分の原寸モックアップに採用候補のLED照明数機種を照射し、比較、調整。そして、1.5層分の実物大ファサードモックアップに採用予定のLED照明を組み込み確認しています。竣工時には、現地でも色温度や輝度、細やかな光の動きを表現するプログラミングの最終調整を施すことで、

銀座四丁目交差点の「和光」のライティングカラーや、都心の夜空の深いブルーなど、時間帯や季節に応じた最適解を導きました。完成後に感じたのは、当初のイメージ以上に幻想的になったことです。1190個のLED照明が反射により何十倍にも増幅し、光の粒々が立体的にガラスルーバーに映し出されました。プログラミングはあえて輝度を抑えてスローに変化させ、消灯部分も追加「i liv」のたまたままいが闇のカーテンに包まれて夜空に溶け込む寡黙さも演出できました。

DATA

所在地: 東京都中央区銀座5丁目7-6
 工事別: 一戸建て 新築
 用途地域: 商業地域 防火地域 銀座地区地区計画
 区域: 高度利用地区
 建ぺい率: 実効83.69% < 制限100%
 容積率: 実効1090.08% < 制限1100%
 構造と規模: S造 SRC造(明振構造(縦置き粘性ダンパー・TMD搭載)造) 地下1階地上14階建て
 敷地面積: 900.83㎡
 建築面積: 251.75㎡
 述べ床面積: 3601.17㎡
 工期: 2017年8月1日~2019年7月1日
 施工: 清水建設
 施工協力: 電気設備/大坪電機 照明器具/Martin Professional Japan 照明制御/アスタリタ

営業内容

開業: 2019年8月1日 経営者: 中徳産業㈱

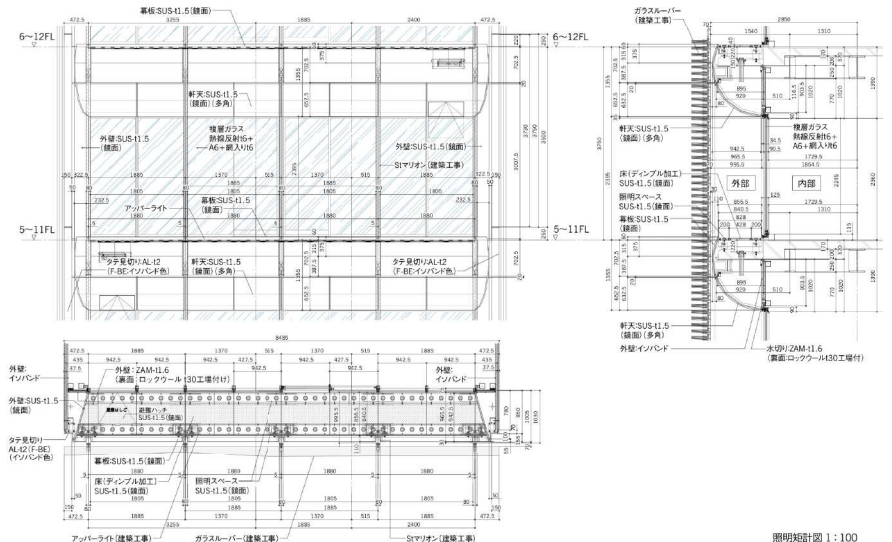
主な仕上げ材料

原観: コンクリートスラブ、アスファルトルーフィング、断熱材、緑線シート地保強コンクリート全ゴテ仕上げ
 外壁: STマリン80×85切頂加工の上溶融亜鉛メッキリ

シーム処理 支持金物/高強度アルミ押出成形材 ルーバー(高速過倍強度ガラス(12×4) ST100角(2.3銷止め塗装)下地アルミサッシ(縦層ガラス/熱線反射ガラスt6+A6+網入りガラス(6.8) 外壁断熱複合パネル貼り テルマートガラス張り 花崗岩貼り 外部床柱: ST100角(2.3銷止め塗装)下地アルミパネル(2フッ素樹脂焼き付け塗装) サイン: SUS304FB19鏡面仕上げ カービングガラス(t12+t15+t15+t15) 照明器具: 屋外仕様ドット型LED照明(Exterior Dot-HP Clear Front/Martin Professional Japan)



避難バルコニーとガラスルーバーの間の床面および天井を鏡面仕上げとし、ドット型LED照明をアッパーに設置。光が乱反射することで、ファサードに幻想的なシーンをつくり出す



照明設計図 1:100